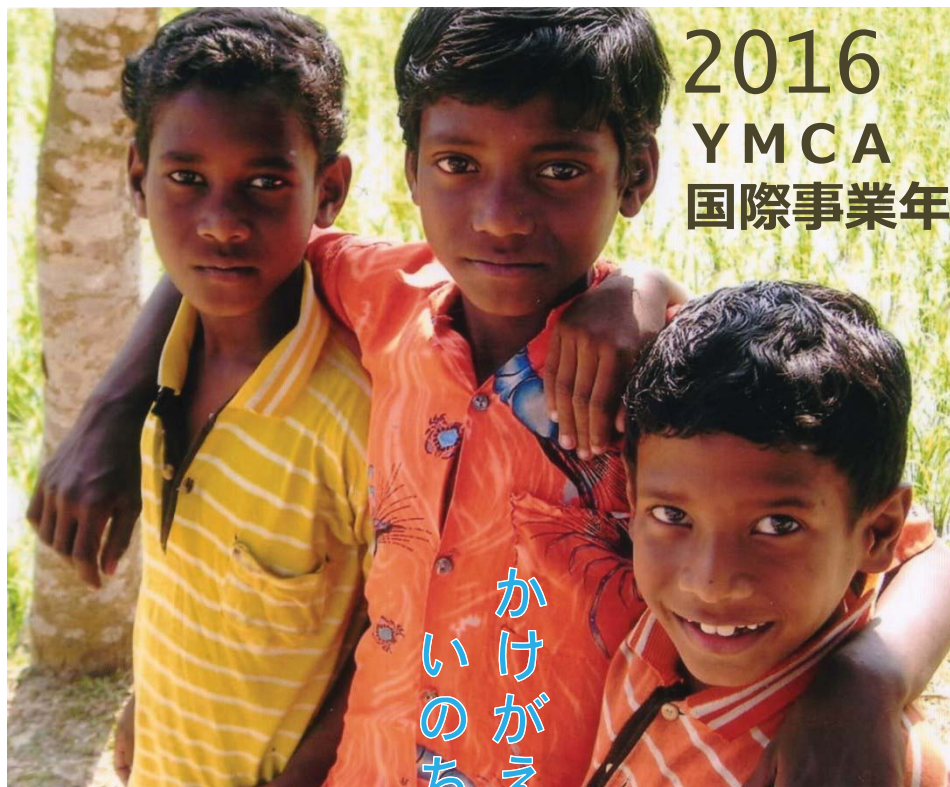


子どもが、
未来を
創る。



2016
YMCA
国際事業年次報告書

かけがえのない
いのちと平和



公益財団法人日本YMCA同盟
YMCA国際協力募金

**Y M C Aは
「ポジティブネット」のある
豊かな社会を創ります**



互いの存在や個性を認め合い、
高め合うことのできる、
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク、
「ポジティブネット」。
Y M C Aの国際事業では
ポジティブネットをひろげ、
性別や年齢、出身、宗教に関係なく
誰もが大切にされる
平和な社会をめざします。

■ごあいさつ

平和を創り出す

全国Y M C A、ワイズメンズクラブをはじめとする協力・関係団体の皆様、また個人の皆様のご支援により2016年度も共に平和を創り出す国際活動を実施することができました。ご協力くださいました皆様に心より感謝を申し上げます。

「子どもが、未来を創る。～かけがえのないいのちと平和～」をテーマに国際協力募金活動を実施し、世界の中で困難な状況にいる子ども達、人々に寄り添う気持ちを大切に様々な取り組みが行われました。

Y M C A国際協力募金は、Y M C Aの活動や事業に関わる子どもや大人、生徒達にとって、大きな意味を持っています。

Y M C Aのスタッフや教育、学生を中としたボランティアは、いま世界で起きている紛争や災害、経済格差や差別などによって引き起こされている現状をまず自らが学びます。そして、特に国や地域、言語や宗教、性、価値観の相違や障がいの有無などを受け入れあえないことから生まれる「差別」を、子ども達や生徒にどのように伝えるかを考えます。また災害が起こった際には、被災された人々とその地域に、今何が必要で、何が私達にできるのかを共に考えます。

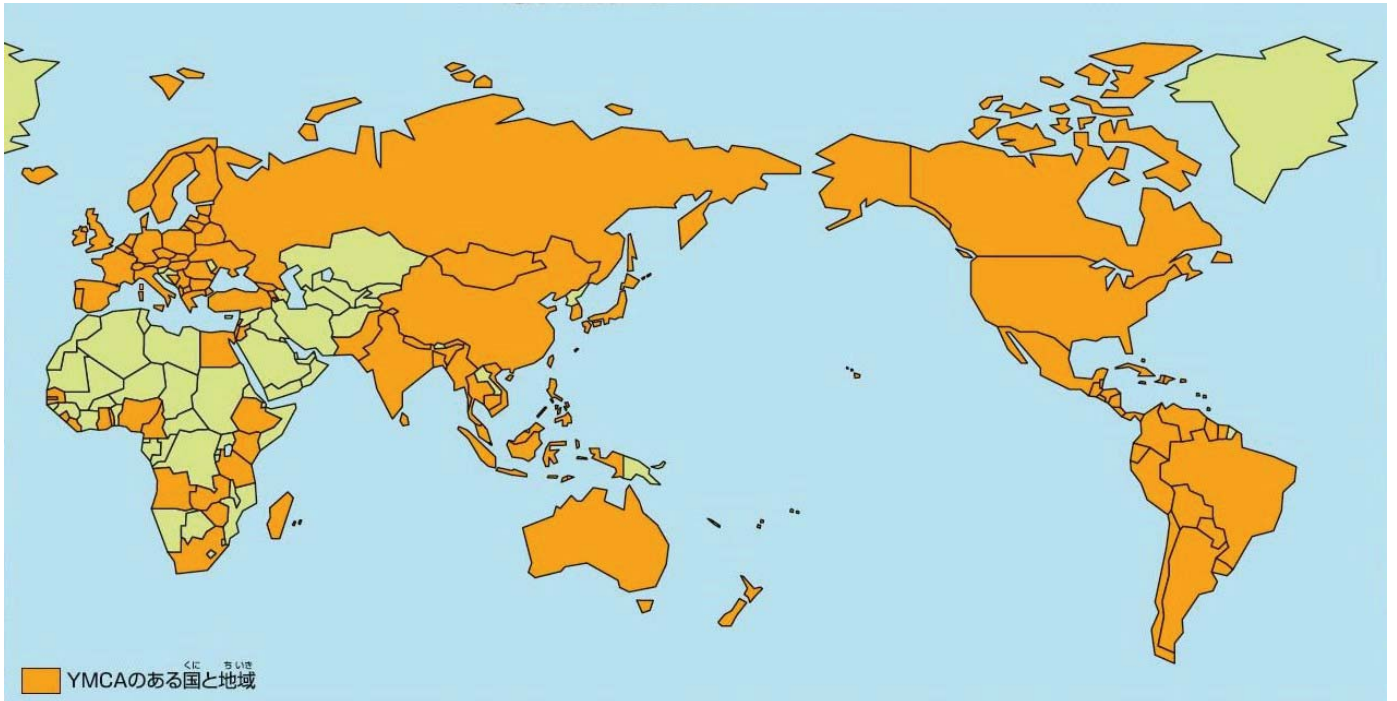
このような取り組みを通して、虐げられ弱くされた人、貧しく小さくされた者に寄り添う心を大切に育むことが、「平和を創り出す人」につながると確信しています。人の心や意志は、戦争をも創り出すことができますが、差別や争いのない社会を創り出すことこそ、神様が求めていることなのだと信じてやみません。

公益財団法人日本Y M C A同盟
総主事 神崎 清一



世界につながる Y M C A

世界 119 の国と地域にあり、
5800 万人のメンバーがいます



日本の Y M C A がかわりを持つ 30 にのぼる海外の Y M C A

(パートナー*・リンケージ*他)

アメリカ、イギリス、インド、インドネシア、オーストラリア、カナダ、
韓国、カンボジア、ギリシャ、コロンビア、スリランカ、シンガポール、
タイ、台湾、タンザニア、中国、ドイツ、ネパール、ハイチ、パキスタン、
バングラデシュ、パレスチナ、東ティモール、フィリピン、ベトナム、
香港、マレーシア、ミャンマー、モンゴル、ロシア

*パートナーシップ：長期的な協力関係の目標を設置し、定期的な評価を行うことを明文化し、
同意に基づいた Y M C A 間の関係

*リンケージ：パートナーシップは結んでいないが、交流や協力などの関係がある Y M C A 間の関係

2016年度Y M C A国際事業年次報告書

目次

| | |
|-----------------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 世界につながるY M C A | 2 |
| 難民支援 | 4 |
| パレスチナ難民支援 | 4 |
| ギリシャでの難民支援 | 5 |
| アフガニスタン難民支援（パキスタン） | 6 |
| 災害支援 | 7 |
| フィリピン台風被災地 | 7 |
| ネパール地震被災地 | 8 |
| 生活支援 | 9 |
| カンボジア | 9 |
| 海外派遣 | 10 |
| フィリピン青少年リーダーシップ養成キャンプ | 10 |
| ミャンマースタディツアー | 10 |
| 学生Y M C Aインドスタディキャンプ | 11 |
| 国内での活動 | 12 |
| 地球市民育成プロジェクト | 12 |
| 国際ピースキャンプ | 12 |
| 全国Y M C A国際事業担当者会 | 12 |
| 啓発活動 | 13 |
| ワールド・チャレンジ | 13 |
| 国際理解・協力・募金活動 | 13 |
| ユースレプス・チェンジエーเจント | 14 |
| 気候変動カンファレンス | 14 |
| グローバル・ギャザリング | 14 |
| Y M C A国際協力募金報告 | 15 |
| 2016年度国際協力募金全国集計 | 15 |
| 2016年度募金使途報告 | 16 |
| 全国のY M C Aの取り組み | 18 |

* 各活動に記載の支援額はY M C A国際協力募金および国際協力資金によるものです。

* この報告書にはY M C Aユースファンド、ワイズメンズクラブ国際協会東西日本区よりご支援いただいた活動も掲載しています。ご支援に感謝申し上げます。

*金額は2016年度の拠出額です

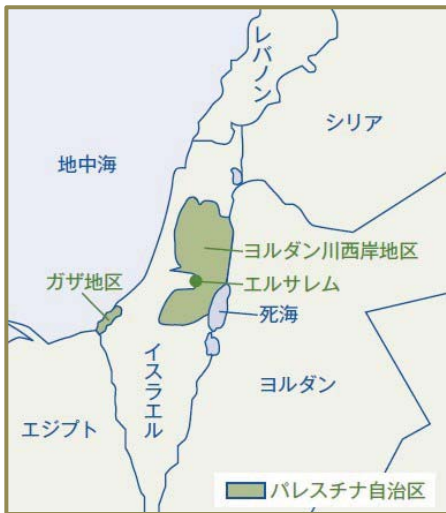
難民支援

紛争や災害から命を守るため、やむを得ずこれまでの暮らしを手放し住処を離れる人々がい
ます。また、移動先でも人権が守られることなく、様々な差別や抑圧を経験します。Y M C A
ではそのような人々が権利を回復し、安心して暮らせるよう支援しています。

パレスチナ

パレスチナ職業訓練校支援

(支援額 1,200,000円)



「生計をたてるための技術」を身に付ける



60年以上イスラエルの占領下にあるパ
レスチナでは分離壁の建設等で厳しい生活を
強いられています。現地の東エルサレム Y
M C A では、イスラエル軍から心身に傷を
受けた人びとや、政策の影響による失業者
のために、職業訓練、心のケア、女性や子
どものための活動を行っています。日本の Y
M C A は長年にわたりその活動を支援して
います。

オリーブの木キャンペーン

(支援額 138,000円)

東エルサレム Y M C A はパレスチナ Y W C A
と協働し、正義と平和の実現を願い、オリーブの
苗木を植樹する「オリーブの木キャンペーン」を実
施しています。苗木を植えることによって自分達
の土地を主張することにもつながります。日本の
Y M C A でもこの取り組みに協力し、オリーブの
苗木を1本3,000円で支援しています。オリーブ
の木は食用や石けん、木工品の材料など生活
を支える大切な資源にもなっています。



オリーブの木を植えることで
自分達の土地を主張している

*金額は2016年度の拠出額です

難民支援

ギリシャ

ギリシャでの難民支援 (支援額 680,053円)



世界Y M C A 同盟ではギリシャのテサロニキに難民支援のオフィスを設置し、シリアやアフガニスタンから逃れ他国に移動、またはギリシャに来た難民を支援しています。設立当初は物資の支援を行っていましたが、長期に渡りテサロニキに滞在する難民のために地元のN G O と協力し女性や子どもを対象に様々な活動をしています。

プールから新たなスタート <テサロニキY M C A のレポートより>

難民のヘンリーは、邪魔にならないようにプールの子ども達を見つけていました。「ヘンリーくん、明日からプールに入ったら？」と私は声を掛けました。ヘンリーは笑顔で「ありがとう」と答えました。急いで水着とゴーグル、水泳帽を買い、ヘンリーの母親とプールの責任者に連絡しました。ヘンリーは、さっそく次の日から泳ぎました。他の難民の子ども達もヘンリーに続いて泳ぎ始めました。

難民の子どもは、命を守るために海を渡って故郷から逃れてきました。ヘンリー達は、テサロニキのY M C A のプールで泳ぐことから新しい未来を始めようとしています。(2017年4月)



女性への支援 <テサロニキY M C A のレポートより>

毎週月曜日にシリア難民の女性がテサロニキY M C A の裁縫室に集まり、くつろいでおしゃべりしています。多くの女性が普段は炊事、育児、掃除や洗濯などの家事をしています。そして、たいへんなことが起こっても、これまでどおりの生活を続けるためにベストな方法で切り抜けるたくましさを持っています。友人と集まって話をすると生活のさまざまな問題は共通していることがわかります。仲間とおしゃべりは大切な時間です。「いつか、ギリシャを出る日が来るはず。」「ドイツに行ってしまう友人と友情が続くかしら？」テサロニキY M C A の「裁縫室」は女性同士が語り合う大切な場所になっています。(2017年4月)



*金額は2016年度の拠出額です

難民支援

アフガニスタン難民 子ども教育支援

(支援額 1,305,696円)

パキスタン

2017年4月末を持って支援を終了しました。これまでのご協力に感謝申し上げます。



ラホール

現在も混乱が続くアフガニスタンからパキスタンに逃れた難民の子ども達のために、現地のY M C Aと協働して2003年に開設した小学校には男女80人の生徒が学んでいました。安全な環境で友達と一緒に過ごし、読み書きや計算を習得し、知識がやがて自分や家族の命と生活を守ることをめざして支援してきました。しかし、パキスタン政府の難民帰還政策によりやむを得ず小学校を閉校することになりました。これまでのご協力をありがとうございました。

学校生活 <ラホールY M C Aのレポートより>

子ども達は、いっしょけんめい学びます。4月は入学のシーズンです。新しい本や文房具、かばんを受け取ってとても喜んでいました。毎年6月に、男の子には新しい制服、女の子にはチャダール（頭を覆うスカーフ）が渡されます。12月にもう一回、配ります。夏は暑く、たくさんの汗をかくので、しょっちゅう洗濯を行いますが、洗剤の品質が悪いため服がすぐにダメになってしまいます。そのため1年に2回配っています。（2017年4月）



給食 <ラホールY M C Aのレポートより>

給食は、揚げた野菜や豆のカレーとロティ（パン）で、週に1度は米と果物が出ます。栄養を考えた献立の給食です。夏は暑いので氷を入れた冷たい飲み水を用意します。子ども達に衛生的な生活を教えるために食事の前には必ずみんなで手を洗います。そして、アフガニスタンの伝統にならって、食事の時は床に座ります。昨年10月に、子ども達がいつも座る床の敷物が破れてしまったので、さっそく新しいものに交換しました。（2017年4月）



*金額は2016年度の拠出額です

災害支援

自然災害による被災地で、現地のY M C Aが行う緊急支援や、被害を受けた地域の人々が暮らしを取り戻し安心して過ごせるように、教育施設の修復作業や地域の子ども達・人々との交流などを通して心の回復を支援しています。

フィリピン

フィリピン台風被災地支援

(支援額 185,332円)



2013年11月の台風で被害を受けたパナイ島で支援活動を行っています。

2017年2月にワークキャンプが行われ日本から大学生のボランティアリーダーやスタッフ10人が参加しました。地元の青年たちと一緒にY M C A キャンプ場のキャンプサイトにココナッツを植えたり、集いの場の建物の屋根の修繕などの作業をしました。

また村でのホームステイを通して村の人々や子ども達との交流を深めました。さらには地元の82歳の女性をゲストに迎え、日本とフィリピンの戦時中のお話を伺い、今の私たちにできることは何かと、平和を考える時を持ちました。現地でのワークキャンプ実施の他には奨学金7,000ドルを送金し、被害に遭った子ども達が災害に負けずに勉強ができるよう応援しています。

※主催：茨城Y M C A

子ども達との交流 <ワークキャンプ報告書より抜粋>

乾季には珍しく雨が1日降り続けました。デイングル地区の小学校に移動すると、子どもたちの笑顔が大歓迎してくれました。ワークが実施できないため、急遽予定を変更して2時間ほどの文化交流を実施。英語とタガログ語で、ゲーム大会や折り紙での交流を行いました。言葉の壁を越えて元気に走り回り頑張りきったリーダーたちは、子どもたちの満開の笑顔に嬉しさを感じたようでした。



力をあわせてワーク <ワークキャンプ報告書より抜粋>

台風で壊れてしまったY M C A キャンプ場の建物がようやく修繕に取り組めることになりました。80枚近くあるトタンの屋根のさび止めのペンキ塗りや打ち付ける作業をしました。キャンプ中は「ファミリア」「なかま」とキャンプ中に呼び合っていた日本とフィリピンの混合3人一組のグループで作業をし、互いに助け合いながら、言葉や文化を越えてよい関係が築かれました。



災害支援

ネパール

ネパール地震被災地支援

(支援額 1,118,748円)

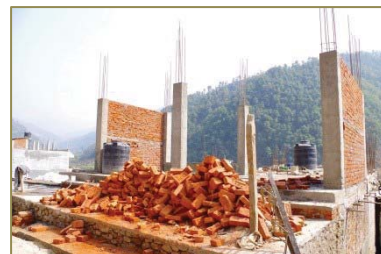


2016年4月25日の地震で甚大な被害を受けたネパールは、世界の中でも最貧国のひとつです。震災直後のインドの経済封鎖による物価の高騰も、復興の遅れに大きく影響しました。ネパールY M C Aを通して被災した子ども達200人に、文具、制服、学用品を送り支援を行っています。また北九州Y M C Aの仲介で、被災した小学校の再建を現地の支援者と共に行っています。一方、神戸市社会福祉協議会で集めた募金により、神戸Y M C Aを通して、震災により仮設の教室で授業を行っている別の小学校の再建を支援しています。今後は現地でのワークキャンプの実施を検討しています。

校の再建を現地の支援者と共に行っています。一方、神戸市社会福祉協議会で集めた募金により、神戸Y M C Aを通して、震災により仮設の教室で授業を行っている別の小学校の再建を支援しています。今後は現地でのワークキャンプの実施を検討しています。

ネパールの人々の暮らし

2017年2月に日本のY M C Aスタッフがネパールの支援先を訪問しました。支援先の小学校近くの村には段々畑や棚田で作物が作られ、地震で壊れた家を建てなおしている様子が見られました。震災に対する政府の組織的な支援は望めず、人々はそれぞれのペースで震災から生活の立て直しを図っている印象でした。ネパールは国内産業が少ないため出稼ぎ労働が多く、英語のスキルを高めるため英語の早期教育が盛んです。



レンガをひとつひとつ手で積み上げながら住宅再建が行われていた

生まれ変わった小学校

カトマンズから車で5時間ほどかけて訪ねたのは、山岳地帯の中腹に建てられた小さな学校です。1年生から10年生までの200人の子ども達が通っています。日本で集められた募金によって地震で壊れた校舎の代わりに2階建の校舎を建てることができました。6つの教室がある新校舎は白とピンクに塗られ、賑やかな声に溢れています。日本のY M C Aスタッフの訪問にあわせて落成式が行われました。



落成式で歌や踊りが披露された

*金額は2016年度の拠出額です

生活支援

経済格差による失業、貧困や差別、病気などによって自立した生活が難しく、路上での暮らしを余儀なくされたり、収入を得るために育児が出来ない家族のために現地のY M C Aが行う活動を支援しています。

子どもや高齢者が安心して住める社会へ

(支援額 511,000円)

カンボジア



カンボジアのY M C Aが行うストリートチルドレンプロジェクトでは、2つのセンターで66人が2年間、国語、算数、社会、英語を学び、約半数の子どもが公立学校に編入することができました。貧困地域では月に一度モバイルクリニック（移動診療）を開設し、3か月の間に近隣住民242人が利用しました。また、カンボジアには政府による虐殺によって子どもを亡くしたひとり暮らしの高齢者がいます。Y M C Aでは高齢者の家を定期的に訪ね、治療や薬の支給、相談、食事の提供などを行っています。2016年度は17人のユースがボランティアとして参加しました。シエムリアップ地域では、横浜Y M C Aの支援により、貧困家庭の子どもと親のための活動が行われています。2017年2月には現地のチャイルドケアセンターに日本から保育士を派遣しました。

学校に行きたい <カンボジアY M C Aのレポートより>

8歳のセブディは6人家族で、母親は工場、父親は工事現場で働いています。小学校への入学を楽しみにしていましたが、費用がなくあきらめました。Y M C Aではそのような相談に応じてY M C Aの学校に通えるようにしました。給食、制服やかばんなどの学用品も支援しています。

学校に行けるようになってうれしいです。初めてピザやケーキを食べました。公園やテレビ局に行ったことも楽しかったです。ありがとうございます。



高齢者の支援 <カンボジアY M C Aのレポートより>

孫と2人暮らしの女性は孫の学費のために農園に勤務していましたが体調を崩しやすく収入が不安定でした。Y M C Aのボランティアが農作業の手伝いや相談に応じたことで、収穫物を販売し収入を得られるようになりました。



シエムリアップでの活動 <カンボジアY M C Aのレポートより>

シエムリアップのビール村に暮らす女性と子どもの支援を行っています。親が仕事をしている間や職探しをしている時に子どもを預かります。幼稚園では「うた」「ぬりえ」、「工作」をし、算数や社会を勉強しています。朝と昼には給食があります。Y M C Aのスタッフは、地域の人たちが必要とする支援を行うために、月に一度、地域を回ってみんなの話を聞いています。



*金額は2016年度の拠出額です

海外派遣

Y M C Aでは青年たちが海外で人々と出会い、肌で感じて考えることを通して成長し、その経験を通して気付いた課題に対して自ら行動することを願っています。

フィリピン・ダウンタウンY M C A 青少年リーダーシップ養成キャンプ

(派遣支援 100,000円)

フィリピン

2016.3.30~4.4

フィリピンのマニラダウンタウンY M C Aが近隣各国に参加を呼び掛けて行われたキャンプです。リーダーシップとは何か、リーダーになるためにはどのようにしたらいいの、を考えるための講義や、施設の訪問、ディスカッションが行われました。日本からは2人が参加し各国の仲間と共に学びました。参加者からは、「他の人の話を聞いたり、自分の考えを伝えることが楽しかった。コミュニケーションの大切さを知った」「本当のリーダーとはボスになることではなく、人々に仕えるリーダーだと学んだ」などの報告がありました。



キャンプではビデオを観て感想や意見を聞きあったり、チーム対抗のゲームなど工夫された楽しい内容で学ぶことができた

ミャンマー

ミャンマースタディツアー

2016.10.21~10.28



八角栽培について栽培計画のある地域の僧侶との懇談。仏教徒が国民の8割以上を占めるミャンマーでは僧侶や仏教徒との対話は大切である

全国のY M C Aから3人のスタッフが参加しました。軍事政権から新しい政権になって間もないミャンマーでは安堵の声が聞こえる一方、失業や貧困、麻薬など多くの社会問題を抱えています。今回は現地で八角栽培によって地域の安定と平和に取り組むN G Oスタッフの協力を得て栽培地を訪問し、元州農業大臣からミャンマー社会の状況を聞きました。また、現地のY M C Aを訪問し、スタッフやボランティアとの懇談や見学を通して、ミャンマーのY M C Aによる地域社会の中での働きに触れました。参加者はツアーを通してY M C Aスタッフとしての働きの意義を考える機会を得ました。

*金額は2016年度の拠出額です

海外派遣

インド

学生Y M C A インドスタディキャンプ

2017.2.22～3.11

23回目を迎える2016年度のキャンプは4人の学生が参加し、牧師の団長とスタッフを含めて6人の構成となりました。経済成長の陰で貧困や差別に苦しむ子どもや大人、伝統に縛られ抑圧されている女性や低カースト層の方々のために、草の根で活動するYMCAやNGO団体、教会や様々な宗教の施設などを訪れ、自分の在り方や今まで当たり前とっていたことを問い直す機会となりました。親元を離れて生きざるをえない子ども達が共同生活する施設での2週間は、遊びや交流を通して子ども達の生活を肌で感じました。キャンプ中毎晩聖書を読み、聖書の教えやイエスの言葉から、自己や日本・アジアの社会を真摯に見つめて振り返り、またキャンパー同士の思いを分かち合う貴重な時間をもちました。



バンガロールではY M C Aやキリスト教、ヒンドゥー教、シク教などの施設、NGO団体などを訪ねた。2週間を過ごした子ども達の施設は海に近いカニヤクマリにある



バンガロールY M C Aのチルドレンハウスは、虐待を受けたり、様々な事情で路上生活をせざるを得ない子どもの駆け込み寺的存在。職業訓練も行っている



2週間を共に過ごした施設の子ども達。出会って早々バレーボールで盛り上がりその後ポーズ

※実施にあたりワイズメンズクラブ国際協会西日本区よりご支援いただきました。

*金額は2016年度の拠出額です

国内での活動

日本国内においても、海外にルーツを持つ人との交流や学びを深めます。また、国際協力や交流に携わるY M C Aスタッフが学び合う機会を設け、情報や意見の交換をしています。

静岡

地球市民育成プロジェクト 夏期研修

2016.8.29~9.4

グローバル時代を生きるユース世代の分析力、対話力、行動力を引き出すことをテーマに通年で実施しているプロジェクトの宿泊研修です。国内30人の他にアジア各国から14人が参加しました。ワークショップやフィールドトリップ、ケーススタディが行われ、これまでの地球市民認証生3人がチューターとしてサポートしました。研修後はアクションプランに取り組み、2017年3月には「地球市民」として認証されました。



中国、韓国、台湾、香港、カンボジア、東ティモールの参加者とのかかわりも大きな刺激となった

※実施にあたり（特非）開発教育協会/D E A Rのご協力及びY M C Aユースファンド、ワイズメンズクラブ国際協会東日本区・西日本区にご支援いただきました。

岡山

国際ピースキャンプ

(派遣支援 250,000円)

2016.9.7~9.14

これまでインドネシアで開催していましたが、現地の情勢により今年は岡山での実施となり、インドネシアと台湾から参加者を得て14人のキャンプとなりました。「“Going beyond the difference” 違いを越えていこう」をテーマに異なる宗教の施設訪問、文化交流などを通して平和について考えました。キャンプの最後には、グループで今後取り組むことを考え、それぞれの国で実行することを確認しました。



顔を見て、聞いて、話して、お互いの距離がぐっと縮まった

※主催：Y M C Aせとうち

東京

全国Y M C A国際事業担当者会

(派遣支援 100,000円)

2017.1.30~1.31

全国15のY M C Aから26人が集い、ブランディングを念頭に置きながら、各Y M C Aでの取り組みを共有し、さらにグループで今後取り組むべきことを具体的に検討しました。グループではさまざまな議論やアイデアが出され、実現のためのタスクチームが作られることが確認されました。



グループでの議論を発表

*金額は2016年度の拠出額です

啓発活動 YMCAの会員や市民に向けて、海外や国内での活動、そこにかかわる人々やユースの声を届け、国際協力・交流の意義や必要性を伝えます。

全国YMCA ワールド・チャレンジ



2016.6.6～6.26

1844年にイギリスでYMCAが誕生した「6月6日」を覚え、世界のYMCAと連帯して、YMCAがユースの団体であることをアピールし、ユースエンパワーメントの機会として毎年実施している活動です。2016年のテーマは「ユースの声を届けよう～Give a voice to young people～」で、吹き出しに全国からユースを中心とした多くの声を動画や写真で発信しました。日本での取り組みは、世界YMCA同盟チェンジ・エージェント*のリードによって進められました。



ひとりひとりが吹き出しで声を発信！

*チェンジ・エージェント・・・14ページ参照

国際理解・国際協力募金活動

(教材作成等 1,732,596円)

YMCAが取り組む国際事業の意義を会員に伝え、賛同者を得ることでその活動の輪を広げていく取り組みが全国各地のYMCAで行われています。国際事業活動のために各地で行われている募金活動とそのためのオリエンテーションを、国際理解教育の大切な機会と位置付けています。そのためリーフレットやパネル、スライドなどの教材を作成し、全国のYMCAで活用しています。

募金活動に参加することが国際協力であり、そこには小さな子どもから年配の方までが関わることができます。街頭募金では、YMCAのプールや野外活動、英語教室などに参加している子ども達やボランティアリーダー、専門学校の学生などが道行く人に協力を呼びかけました。



ユース・レプス、チェンジ・エージェント

ユースエンパワーメントはY M C Aの大きな原動力です。Y M C Aが、ユースを中心として社会や世界を変えていく働きをなすために、世界では「チェンジ・エージェント」が、アジア・太平洋地域では「ユース・レプス」が選ばれ、国を越えて連帯・協力しながらY M C Aで取り組んでいます。日本からはユース・レプス3名、チェンジ・エージェント6名が活動しました。

タイ

<アジア・太平洋Y M C A同盟ユース・レプス>

アジア・太平洋Y M C A同盟 気候変動カンファレンス

2016.6.20～6.24

アジア・太平洋Y M C A同盟2015-2016期ユース・レプスがプログラムの一環として取り組んだ「気候変動についての学び」(Eラーニング)の総括として、タイのチェンマイで開催され各国から32人が参加しました。インターネット上では学ぶことのできなかった内容の講義と、参加者が考えた気候変動に対する取り組みの共有が行われました。国内のY M C Aでは「気候変動」に対する取り組みがまだ活発にはなっていない中、日本からこのカンファレンスに参加したユース・レプスは、2017-2018期に実施されるEラーニングのメンターを担い、取り組みの裾野を広げようとしています。



帰国後、日本でも農業に携わるNGOを訪問するなど今後の活動の可能性をさぐりました

<世界Y M C A同盟チェンジ・エージェント>

タイ

世界Y M C A同盟 グローバル・ギャザリング

2016.8.20～8.31

2015-2016期の世界Y M C A同盟チェンジ・エージェントにとって2回目となるグローバル・ギャザリングが、タイのチェンマイで開催されました。70の国と地域から集う100人を超えるユースと共に過ごす10日間のトレーニングでは、ユース達がそれぞれ、自分が所属する地域とY M C Aで実施するプロジェクトを発表し、さまざまな見地や経験の蓄積と、共により良い未来を創るための議論を重ねました。多くの友情が生まれ、Y M C Aならではの世界的なネットワークを活かしたユース達の活躍が期待されます。日本からは4人のチェンジ・エージェントが参加し、2年間に渡るチェンジ・エージェントプログラムの修了証を受け取りました。



各国からの参加者

2016年度 Y M C A 国際協力募金報告

Y M C A 国際協力募金は全国各地の Y M C A、ワイズメンズクラブで集められ、各地で用いられるほか、日本 Y M C A 同盟を通して支援や交流、育成、啓発等に用いられます。

| Y M C A | 2016年度 募金収入 *1 | 前年度繰越 及び 基金繰入 | 収入計 | 各 Y M C A で 用いられる募金 *2 | 日本 Y M C A 同盟を通して用いられる募金 | | | 支出計 |
|-----------|----------------------|---------------------|-------------------|------------------------------|--------------------------|------------------|----------------|-------------------|
| | | | | | 国際協力募金 | 指定募金 | | |
| | | | | | | オリーブの木 キャンペーン | バレスチナ 難民支援 | |
| 北海道 | 1,780,718 | 0 | 1,780,718 | 1,280,718 | 500,000 | 0 | 0 | 1,780,718 |
| 盛岡 | 300,147 | 0 | 300,147 | 5,082 | 295,065 | 0 | 0 | 300,147 |
| 仙台 | 1,952,367 | 0 | 1,952,367 | 1,452,367 | 500,000 | 0 | 0 | 1,952,367 |
| ぐんま | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 10,000 | 0 | 0 | 10,000 |
| とちぎ | 438,848 | 0 | 438,848 | 334,848 | 104,000 | 0 | 0 | 438,848 |
| 茨城 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 | 0 | 100,000 |
| 千葉 | 59,698 | 0 | 59,698 | 0 | 59,698 | 0 | 0 | 59,698 |
| 埼玉 | 269,348 | 300,026 | 569,374 | 544,374 | 25,000 | 0 | 0 | 569,374 |
| 東京 | 5,078,362 | 545,739 | 5,624,101 | 5,310,601 | 313,500 | 0 | 0 | 5,624,101 |
| 在日本韓国 | 428,476 | 0 | 428,476 | 295,476 | 100,000 | 33,000 | 0 | 428,476 |
| 横浜 | 10,887,572 | 797,510 | 11,685,082 | 10,985,082 | 600,000 | 30,000 | 70,000 | 11,685,082 |
| 山梨 | 53,008 | 0 | 53,008 | 0 | 53,008 | 0 | 0 | 53,008 |
| 熱海 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 富山 | 285,791 | 891 | 286,682 | 891 | 257,791 | 27,000 | 1,000 | 286,682 |
| 金沢 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 名古屋 | 212,524 | 583,000 | 795,524 | 695,524 | 100,000 | 0 | 0 | 795,524 |
| 三重 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 滋賀 | 34,630 | 0 | 34,630 | 24,100 | 10,530 | 0 | 0 | 34,630 |
| 京都 | 1,492,821 | 0 | 1,492,821 | 992,821 | 500,000 | 0 | 0 | 1,492,821 |
| 福知山 | 7,010 | 0 | 7,010 | 0 | 7,010 | 0 | 0 | 7,010 |
| 奈良 | 848,462 | 0 | 848,462 | 548,462 | 300,000 | 0 | 0 | 848,462 |
| 大阪 | 3,808,089 | 0 | 3,808,089 | 3,208,089 | 600,000 | 0 | 0 | 3,808,089 |
| 和歌山 | 70,204 | 209,770 | 279,974 | 1,202 | 278,772 | 0 | 0 | 279,974 |
| 神戸 | 2,328,059 | 0 | 2,328,059 | 1,920,059 | 340,000 | 18,000 | 50,000 | 2,328,059 |
| 姫路 | 87,818 | 0 | 87,818 | 0 | 87,818 | 0 | 0 | 87,818 |
| せとうち | 550,422 | 0 | 550,422 | 500,422 | 50,000 | 0 | 0 | 550,422 |
| 鳥取 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 広島 | 1,984,114 | 19,109,308 | 21,093,422 | 20,293,122 | *3 800,300 | 0 | 0 | 21,093,422 |
| 松山 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 北九州 | 232,253 | 0 | 232,253 | 0 | 232,253 | 0 | 0 | 232,253 |
| 福岡 | 145,557 | 98,868 | 244,425 | 144,425 | 100,000 | 0 | 0 | 244,425 |
| 長崎 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 熊本 | 9,218,847 | 0 | 9,218,847 | 8,418,847 | 800,000 | 0 | 0 | 9,218,847 |
| 鹿児島 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 沖縄 | 30,000 | 0 | 30,000 | 0 | 30,000 | 0 | 0 | 30,000 |
| 同盟 | 985,093 | 0 | 985,093 | 0 | 408,313 | 282,000 | 294,780 | 985,093 |
| 合計 | 43,680,238 | 21,645,112 | 65,325,350 | 56,956,512 | 7,563,058 | 390,000 | 415,780 | 65,325,350 |

*1 募金収入の中にはワイズメンズクラブ及び学生 Y M C A からの募金も含まれます。

*2 各 Y M C A で用いられる募金の中には基金への繰り入れ及び次期繰越も含まれます。

*3 アフガニスタン難民指定募金が含まれます。

* 国内の震災関連の募金は含まれておりません。

1. 2016年度 国際協力募金使途経過報告 (2016年4月～2017年3月)

(1) 国際協力募金

<収入> (資金内訳)

| | |
|----------------|-----------|
| 2015年度国際協力募金一般 | 7,229,991 |
| ツール負担金 | 107,451 |
| 合計 | 7,337,442 |

<支出>

| | 決算額 |
|--|------------------|
| 1. 国内外のユース育成 | 550,000 |
| 海外・国内プログラム派遣・招聘 | 450,000 |
| A P A Y地球市民育成研修 (2016年8月 スリランカ) (派遣なし) | 0 |
| 青少年リーダー養成キャンプ (2016年4月 フィリピン・マニラ 5万×2名) | 100,000 |
| 近隣加盟YMCA海外派遣プログラム参加支援 (フィリピンワーク@5万×10名) | 150,000 |
| 各種海外派遣・キャンプ支援等 (日韓学生YMCA交流) | 200,000 |
| 人材養成のための研修、会議等 | 100,000 |
| 国際関係事業担当者会運営費補助 (2017年1月) <拠出予定> | 100,000 |
| A P A Yジェンダー・ユース他ワークショップ会議関連派遣等 | 0 |
| ※全国YMCA国際研修会はワイズより支援いただく | |
| ※アジア地域のYMCAを通じたキャンプや青少年育成は3. に記載 | |
| 2. 難民への支援 | 2,605,696 |
| パキスタン・ラホールYMCA小学校支援 | 1,305,696 |
| パキスタン・ラホールYMCA小学校視察・訪問 | 1,305,696 |
| 東エルサレムYMCAへの協力 | 1,300,000 |
| エリコ職業訓練支援 | 1,200,000 |
| 東エルサレム オリーブ収穫渡航費補助 (2016年10月) <1名派遣> | 100,000 |
| 3. アジア地域のYMCA支援 (PSG他運営基盤強化設立支援等) | 1,823,000 |
| アジア地域のYMCAを通じた支援 | 1,823,000 |
| 東ティモールPSG 5千ドル 子ども・ユース育成、女性の職業訓練他 | 551,000 |
| 東ティモールキャンプ支援 サッカー指導者派遣(派遣なし) | 0 |
| カンボジアPSG 5千ドル 貧困層の子ども・高齢者支援他 | 511,000 |
| インドネシアキャンプ支援 ユースによる国際ピースキャンプ | 250,000 |
| モンゴルPSG 5千ドル ユースによる植林プログラム他 | 511,000 |
| 4. 国内の多文化共生のための支援 | 100,000 |
| 国内の多文化共生のための支援 (在日本韓国YMCA) | 100,000 |
| 5. 広報・啓発・学習活動 | 1,732,596 |
| 募金広報用リーフレットなど製作費 (ポスター、募金箱など) | 1,531,644 |
| 各YMCA展示用カラーコピー、写真代ほか (パネル作成) | 127,992 |
| YMCA国際協力フォトコンテスト2016運営費 | 72,960 |
| YMCA国際協力PR運営費、旅費等 | |
| 6. 事務予備費 (送金手数料等) | 23,106 |

| | |
|------|-----------|
| 合計 | 6,834,398 |
| 収支差額 | 503,044 |

* 過年度繰越へ
繰り入れ

(2) 国際協力募金過年度繰越金累計

| | |
|------|---------|
| (収入) | 503,044 |
| (支出) | 0 |
| 期末残高 | 884,944 |

(3) 国際協力募金 (指定)

| | | |
|--|----------------|------------------|
| 1. パレスチナ (オリーブ、難民、ガザ) 支援 (募金・支援継続中) | (送金額) | 499,080 |
| ◆オリーブの木キャンペーン募金 | | 261,000 |
| ◆パレスチナ難民支援募金 | | 238,080 |
| 2. フィリピン台風被災地支援 (募金終了・支援継続中) | (支出) | 185,332 |
| ◆ワークキャンプ運営補助 (2017年2月 茨城 Y 主管) | | 185,332 |
| | (残高) | 428,852 |
| 4. ネパール地震被災地支援 (募金終了・支援継続中) | (支出) | 1,118,748 |
| 募金額12,000,709円 | | |
| ◆スカラシップ2016年度 (7千ドル) | | 796,650 |
| ◆現地視察4名渡航関連 | | 322,098 |
| □今後、2017年度実施予定のワークキャンプ及び第3期のスカラシップに用いる | | |
| *このほかに神戸市社会福祉協議会より7,383,888円をいただき、神戸 Y M C A の関係者を通し学校建設支援に用いられた | | |
| 5月に2,171,553円を、11月に2,162,000円を送金 | | |
| 残額2,755,216円はワークキャンプ等に用いる | | |
| | (残高) | 5,369,750 |
| | 神戸市社会福祉協議会寄付残高 | 2,755,216 |
| 5. 世界 Y M C A 同盟難民支援 | (支出) | 680,053 |
| 募金額680,053円 | | |
| ◆世界 Y M C A 同盟の難民支援事業、ギリシャ・テサロニキ Y M C A へ送金 | | 680,053 |
| | (残高) | 0 |

2. 国際協力資金 (2016年4月～2017年3月)

2016年度期首残高 **36,724,374**

<支出>

| | 決算額 |
|---|------------------|
| 1. アジア・太平洋 Y M C A 同盟関連支援 | 1,161,787 |
| ◆ A P A Y 運動支援1万ドル | 1,022,000 |
| ◆ ユース・レプス支援 (3名×30万円) | 139,787 |
| 2. 世界 Y M C A 同盟関連支援 | 1,047,101 |
| ◆ チェンジ・エージェント支援 (6名×30万円) | 474,201 |
| ◆ 世界 Y M C A 同盟総主事会議 アジア参加支援5千ドル | 572,900 |
| 3. 在日外国人支援 | 300,000 |
| ◆ かながわ外国人すまいサポートセンターとの協働 (センターの働きを支援2017年度まで) | 300,000 |
| 4. 平和構築のためのプロジェクト | 0 |
| ◆ 日中韓ピースフォーラムアクション実施 | |
| 5. 緊急支援 | 546,800 |
| ◆ 緊急災害 (エクアドル地震) | 546,800 |

支出合計 3,055,688

利息収入 **17,916**
証券売却の按分による手数料負担分拋出 **80,097**

残高 33,606,505

全国YMCAの取り組み（一例）

全国のYMCAではさまざまな取り組みが行われています。
また、その多くがみなさまからの募金によって支えられています。

| | | | |
|---|--|---|---|
| 北海道 ベトナムボランティア アワークの旅 | 盛岡 フィリピン台風被災 地支援キャンプ派遣 | 仙台 タイ農村 ワークキャンプ |  |
| ぐんま 募金活動 |  | とちぎ フィリピン学生支援 | 茨城 フィリピン台風 被災地支援キャンプ |
| 千葉 フィリピン 交流プログラム |  | 埼玉 フィリピンワーク キャンプ |  |
| 東京 バングラデシュ YMCA支援 | 在日本韓国 国内の 国際プログラム | 横浜 プロテクト・ア・ チャイルド（タイの 児童保護活動） |  |
|  | 山梨 募金活動 | 富山 国際理解セミナー | 名古屋 日韓ユースセミナー |



滋賀

中日本
グローバル教育
研修会派遣

京都

ネパールYMCA
児童養護施設支援



福知山

募金活動

奈良

募金活動

大阪

グローバルユース
カンファレンス



和歌山

募金活動



神戸

北タイ農村支援

姫路

募金活動

せとうち

国際ユースピース
キャンプ

広島

広島YMCAユース
ピースセミナー

北九州

ネパール地震
被災地支援

福岡

募金活動

熊本

タイ山岳少数民族の
子ども支援



沖縄

募金活動

学生 YMCA

インスタディ
キャンプ

Y M C Aとは

1844年6月、英国・ロンドンで誕生しました。
産業革命の過酷な労働環境で働く青年たちが集まり、語り
合い、互いの成長と生活改善を求めて活動を始めました。
現在は世界119の国と地域で5,800万人が活動するN G O
(非営利組織)です。また、1947年から国際経済社会理事
会(E C O S O C)の協議資格を有する団体として、青少
年教育、人権、女性の地位向上などの分野で国連や赤十字
と協働しています。

日本Y M C A基本原則

私たち日本のY M C Aは、
イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、
世界のY M C Aとのつながりのなかで、次の使命を担います。
私たちは、
すべての人びとが生涯をとおして全人的に成長することを願い、
すべてのいのちをかけがえのないものとして守り育てます。
私たちは、
一人ひとりの人権を守り、正義と公平を求め、
喜びを共にし痛みを分かちあう社会をめざします。
私たちは、
アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、
世界の人びとと共に平和の実現に努めます。
1996年6月15日 / 第106回日本Y M C A同盟委員会採択

(英語版)

The Japan YMCA Statement of Basic Principles

We, the YMCAs in Japan, learning from the life of love and service manifested in Jesus Christ, shall carry on the following mission in collaboration with other YMCAs throughout the world.

We shall promote holistic growth of all people throughout their lives, and shall preserve and foster all life, respecting the value and integrity of Creation.

We shall strive to preserve human rights, seeking justice and fairness, and shall work to develop a society where people volunteer to share in the pain and joy of others.

Recognizing our historical responsibility to the people of the Asia-Pacific region, we shall walk forward hand in hand with the people of the world to build a world of peace.

adopted by The National Board, June 15, 1996



YMCAは
あなたのなにかが「みつきり」
誰かと「つながり」
あなたが「よくなっていく」
場所でありつづけます

2016年度YMCA国際事業年次報告書

2017年6月10日 初版発行

公益財団法人日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区本塩町7番地
TEL 03-5367-6640 FAX 03-5367-6641
E-mail info@ymcajapan.org
URL <http://www.ymcajapan.org>
Facebook <https://www.facebook.com/japanymca.internationalrelations/>

三菱東京UFJ銀行 四谷支店 普通預金0951298
「公益財団法人日本YMCA同盟 国際協力募金口」
郵便振替 00190-6-464236 「日本YMCA同盟地域国際募金口」